



ひたちなか市では水害から市民の生命・財産を守るため様々な治水対策を推進しています。
国・県・市を問わず市内で行われている治水対策についてご紹介していきます。

発行：ひたちなか市建設部河川課
那珂川緊急治水対策推進室

ひたちなか市単独の中央要望を行いました

梶山衆議院議員、国土交通省、財務省へ要望書を提出！

ひたちなか市単独の中央要望を11月7日に行いました。中央要望では、地元選出の国会議員である梶山衆議院議員、国土交通省、財務省へ、「那珂川河口部から勝田地区までの無堤部の築堤推進」、「那珂川合流部の浸水対策（中丸川・早戸川）」、「気候変動を踏まえた治水事業及び下水道事業の加速と予算・財源の確保」を求めた要望書を提出し、地元の声を届けました。

要望活動では、大谷市長がひたちなか市の治水対策と要望を伝えるとともに、市内で行われている学生の河川研究についても説明しました。

梶山衆議院議員



薄井議長、梶山衆議院議員、大谷市長



国土交通省



薄井議長、石井上下水道審議官、大谷市長

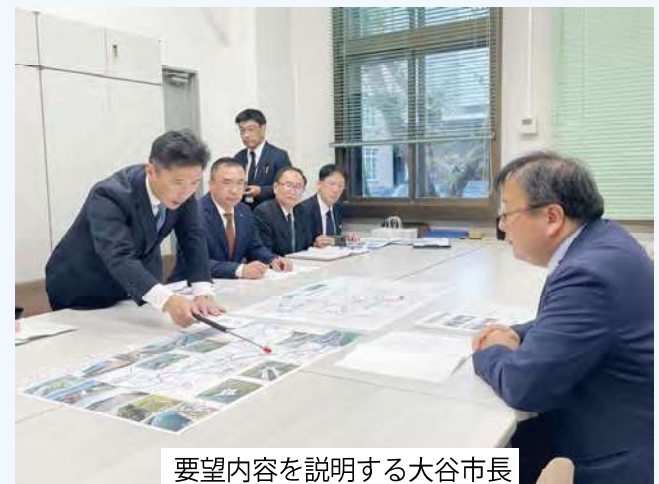


薄井議長、中井水管理・国土保全局次長、大谷市長

財務省



薄井議長、中山主計局次長、大谷市長



要望内容を説明する大谷市長

常陸河川国道事務所長へ要望を行いました

国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所長へのひたちなか市単独要望を10月27日に行いました。大谷市長が、ひたちなか市の治水対策について説明し、那珂川緊急治水対策プロジェクトの進捗状況を伺うとともに、プロジェクトの早期完成と今後の予算の確保等について要望しました。



大谷市長、佐々木事務所長



大谷市長が要望内容を説明

茨城県土木部長へ要望を行いました

茨城県土木部長へのひたちなか市単独要望を10月28日に行いました。大谷市長が、茨城県と連携して流域全体で治水対策を行っている「中丸川流域における浸水被害軽減プラン（100 mm/h 安心プラン）」に沿って、中丸川調節池や中丸川河道改修の進捗状況を伺うとともに、本市の事業に対する予算の確保等について要望を行いました。



大谷市長、和賀土木部長



大谷市長が治水対策を説明

令和7年度治水事業促進全国大会

令和7年度治水事業促進全国大会が、11月11日にシェーンバッハ・サボー（東京都）で開催されました。同大会では治水事業への要望の決議等が行われ、その後、大谷市長が大会決議文を、茨城県選出の国会議員に提出しました。



治水事業促進全国大会



高萩市 鈴木副市長、大谷市長、田所衆議院議員

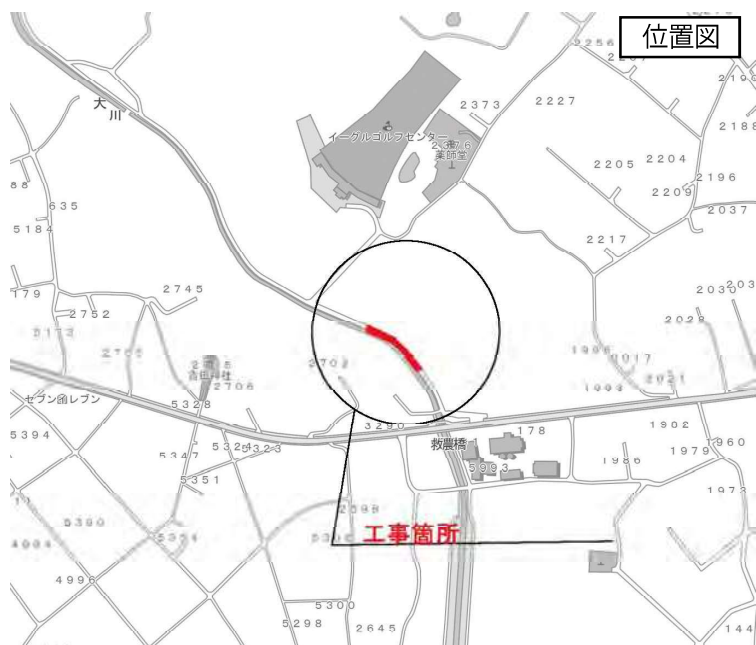
大川改修工事（救農橋上流側）～令和7年度工事開始～

令和7年度の大川改修工事（救農橋上流側。中根地内）を右図の箇所で行います。

河川の拡幅工事により流下能力を増加させ、大雨による氾濫リスクを低減させる工事となります。

工事期間中、工事車両の通行などご迷惑をおかけしますが、安全に十分注意して工事を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

工事名：大川改修工事（R7国補河改第1号）
工期：令和8年3月27日まで（予定）
工事延長：L= 約80m
受注者：株式会社最北建設



大島第2幹線管きょ布設工事《第2回出来形検査完了》

大島第2幹線管きょ布設工事（東石川地区）において、第2回出来形検査を10月21日に実施しました。検査では、防音ハウスや発進・到達立坑等が、許容範囲の寸法できているか、設計図書や規定に基づいてできているかを検査し、合格しました。



防音ハウスの検査



到達立坑の検査（深さ：約8m）

西十三奉行第2調整池の浚渫工事を開始します

西十三奉行第2調整池の浚渫工事を行います。調整池に堆積した土砂を撤去し、貯水容量の確保・回復を図る工事です。

工事期間中、工事車両の通行（12月上旬～1月下旬）などご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

工事名：西十三奉行第2調整池浚渫工事
工期：令和8年2月28日まで（予定）
受注者：東水建設株式会社



経済建設委員会 所管事務調査～中丸川河川改修事業～

ひたちなか市議会の経済建設委員会における所管事務調査が、10月29日に行われました。

所管事務調査では、中丸川河川改修事業について、常陸大宮土木事務所の担当職員より説明を受けるとともに、中丸川調節池の整備状況を視察し、市議会議員の方々から活発な質疑応答が行われました。



常陸大宮土木事務所から事業説明を受けました



三瓶議員、加藤議員、安（次男）議員、安（のり子）議員、大谷議員、鶴澤議員、弓削議員（左順）

第22回地盤工学会関東支部発表会で松熊さんが発表！

ひたちなか市出身の松熊優依さん（日立一高附属中学校）が、11月6日に開催された、第22回地盤工学会関東支部発表会（GeoKanto2025）において、「高精度な内水氾濫ハザードマップの作成方法の検討」のテーマで学会発表しました。

また、発表終了後には、内閣府を訪問して、森久保政策統括官（防災担当）付参事官（調査・企画担当）に今回の発表内容を説明しました。

GeoKanto2025



研究を進めて分かりやすい発表ができた松熊さん。他の発表者への質問も積極的に行っていました。

内閣府報告



森久保政策統括官（防災担当）付参事官（調査・企画担当）に発表報告。様々なアドバイスをいただきました。

発表テーマ「高精度な内水氾濫ハザードマップの作成方法の検討」

中小河川のハザードマップの整備と避難情報の迅速化を図った「マイハザードマップ」を作成するため、ドローン航空測量等による効率的な3Dマップの作成方法について検討した研究。

ひたちなか市建設部河川課
那珂川緊急治水対策推進室

〒312-8501

ひたちなか市東石川2丁目10番1号

TEL 029-273-0111（内線 6417）

「ひたちなか治水だより」は不定期更新で
ひたちなか市の治水についてお知らせします。

ひたちなか市河川課のホームページでも
治水に関する情報を公開しています。
アクセスはこちら→

